

『心に残る文化財子ども塾』学習指導案

日 時：令和5年6月29日（木）

9：35～11：25

場 所：飯南町立志々小学校

対 象：5・6年生 児童5名

指導者：島根県埋蔵文化センター 1名
志々小学校教員 1名

1. 主題（主題名）

昔の人々の生活を体験しよう～勾玉作りに挑戦～

2. ねらい

○勾玉作りを体験することで、古代の人々の生活の様子や物作りの技術について知る。

○地域の古墳や出土遺物を通じ、文化財に対する興味や関心を高める。

3. 展開

時 間	学 習 活 動	指導者の支援・配慮事項
9：35	1. 学習の見通しを持つ（担任） ・ねらいと学習内容 ・講師の紹介	
9：40	2. 縄文時代や弥生時代についての復習（講師） 3. 町内の遺跡の副葬品・出土品を知ろう。 ・三瓶山周辺に注目する。 ・出土品を見ながら遺跡について知る。 ・土器や勾玉などの副葬品・出土品の観察 ・全国の代表的な古墳と飯南町の古墳について知る。	・遺物を用いて説明する。 ・出土品の扱いに注意する。 ・身近に遺跡が存在することに気付かせる。 ・土器の違いなど視覚や触覚で感じさせる。
10：10	4. 古墳時代の人々のくらしを振り返る。 ・出土品を見ながら考える。 5. 勾玉作り ・道具の説明・作業手順 ・作業・片付け	・勾玉作りの工程を説明する。 ・注意事項を必ず説明する。 ・後片付けをする。
11：20	6. まとめ（担任） ・感想発表	・感想を発表する。

4. 準備物

（学校）・ビニールシート・パソコン・マスク・タオル
（埋文センター）・勾玉セット・プリント資料・出土品